

# 中野駅地区整備基本計画

1.	はじめに	2
	(1)中野駅地区整備基本計画の位置づけ	
	(2)中野駅周辺の将来像	
2.	整備の基本方針	4
3.	整備の考え方	6
	(1)駅前広場整備の考え方	
	(2)中野駅地区主要動線の考え方	
	(3)駐車場等整備の考え方	
4.	整備内容	8
5.	整備の進め方	10
	(1)第1期整備	
	(2)第2期以降の整備	
6.	第1期整備事業計画	12
	(1)第1期整備の内容	
	(2)第1期整備のスケジュール	

平成22年3月

中野区

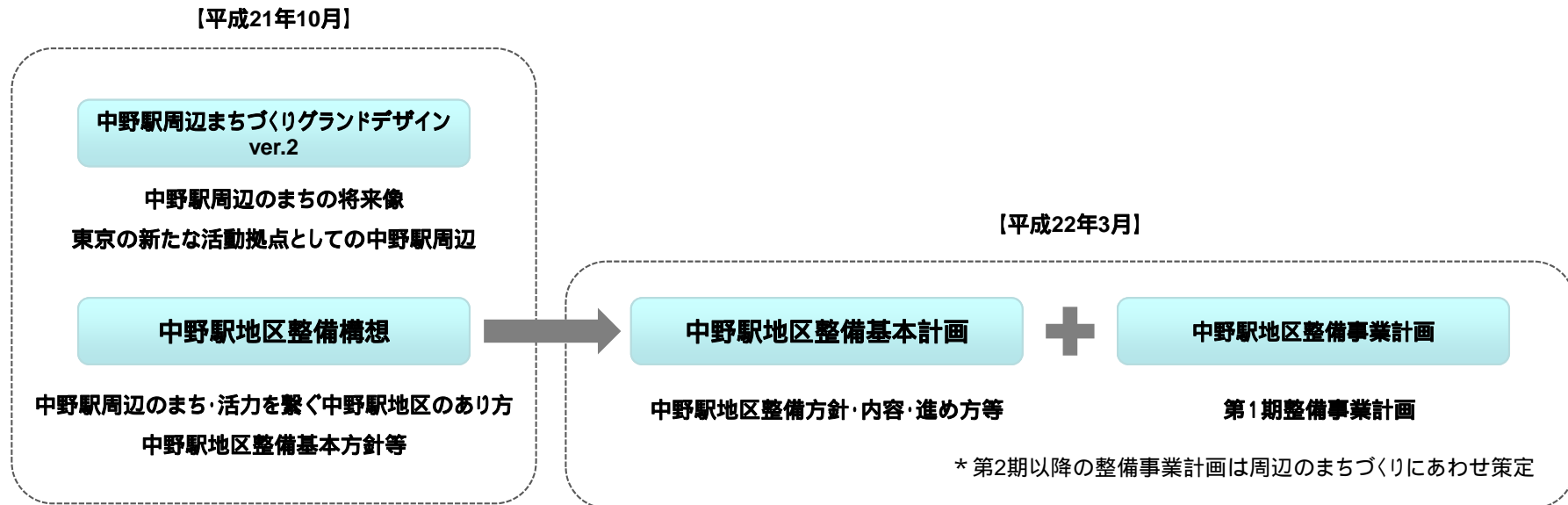
## (1) 中野駅地区整備基本計画の位置付け

中野駅地区整備基本計画は、「中野駅地区整備構想」の具体化を図るため、整備すべき各施設の概ねの規模や形状、および周辺のまちづくりの進捗に併せて整備を行う段階的整備の進め方などを示すものである。

特に、警察大学校等跡地の先行事業整備完了時(H24年春)までを「第1期整備事業計画」としてまとめる。

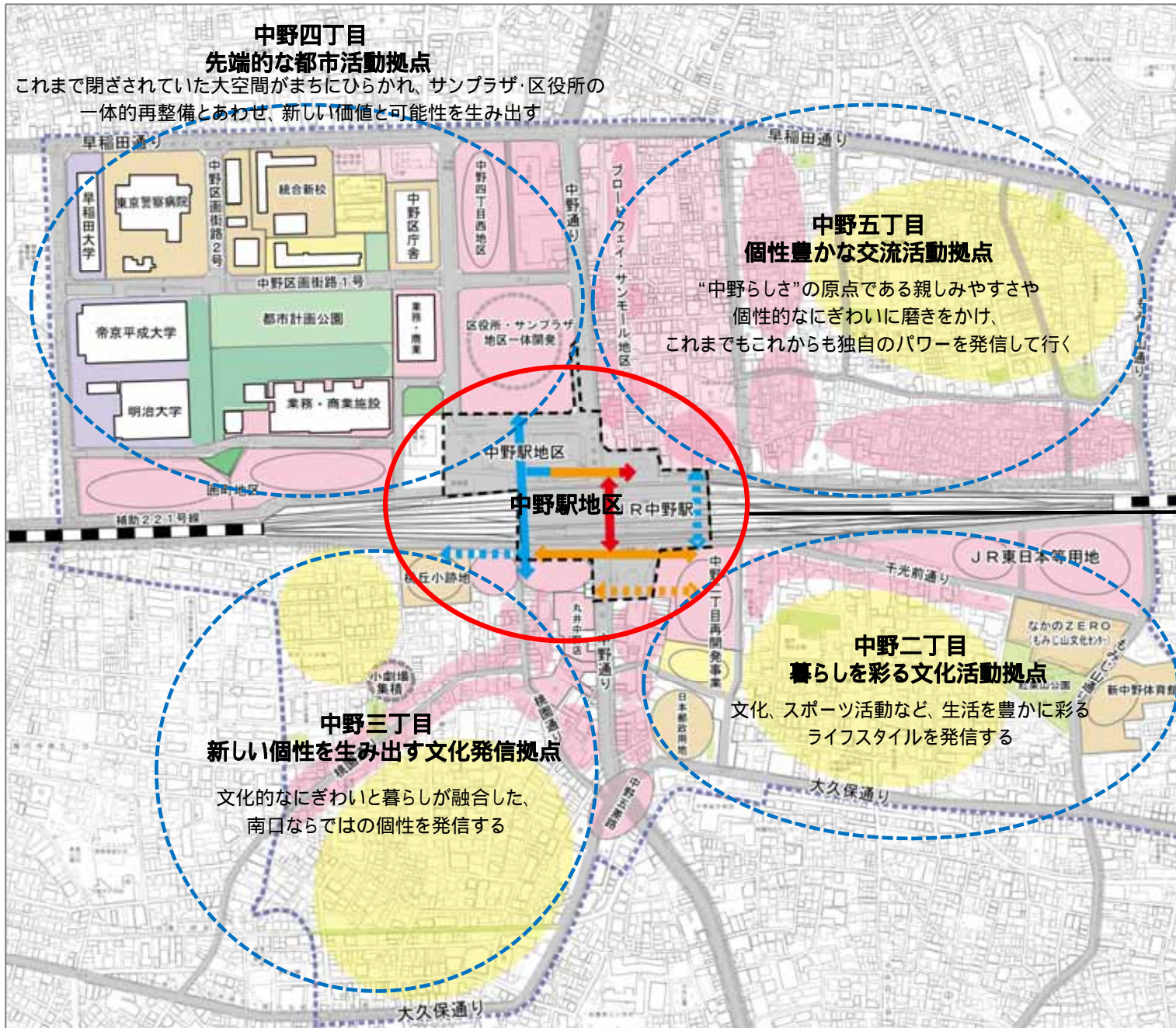
本計画に基づき、関係機関との協議を行い、都市計画決定に向けた手続きや中野駅地区の事業化を段階的に進める。まちづくりの事業化にあたっては、関係住民等と十分な協議のうえ推進する。

なお、本計画では整備構想に基づき、中野駅地区全体の整備基本計画を示すこととするが、事業期間が長期にわたることから、駅周辺まちづくりの進展を踏まえ、整備基本計画の検証を行いつつ、第2期以降の事業計画を逐次確定していくものである。



(2) 中野駅周辺の将来像

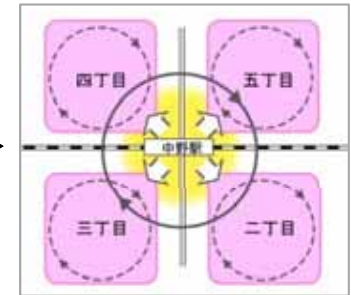
「中野駅周辺まちづくりランドデザインver.2」及び「中野駅地区整備構想」では、中野駅周辺の将来像について下記のように示している。



【中野駅地区の将来像】

駅とまちが融合する魅力的なにぎわい拠点

中野駅地区は、様々な活力を相乗的に広げて行く要としてまちと駅、まちとまちをつなげている



【基本的な考え方】

**中野駅地区 ; 駅とまちが融合する魅力的なにぎわい拠点をつくる****交通結節機能の改善** : 交通施設を集約し、わかりやすさと乗り換えの利便性を向上させる**回遊性の向上** : 周辺と一体となった立体的な歩行者ネットワークを形成する**にぎわいの創出** : 駅前広場と商業施設との連携や歩行者広場の確保によりにぎわいを創出する**東京の新たな顔にふさわしい景観形成** : 東京の新たな顔としてみどりやうるおいが感じられる場をつくる

【整備の前提】

**大幅に増加する中野駅前広場利用者 ~ 各駅前広場の将来合計利用者は約40万人と想定**

・現況の駅前広場の利用者は、鉄道利用者が約16万人、バス利用者・歩行者が約6万人の合計約22万人(現況調査等から推計)

・中野駅周辺の開発により、鉄道利用者が約13万人、バス利用者・歩行者が約5万人の合計約18万人が増加するものと予想

(「大規模開発地区関連交通計画マニュアル」により推計)

【整備の基本方針】

**1. 交通機能の集約化、分担の明確化**・新北口駅前広場(北西側)及び現南口駅前広場(南東側)は自動車等複合利用、  
現北口駅前広場(北東側)及び三丁目側広場空間(南西側)は歩行者系で計画**2. 歩行者ネットワークの強化**

・駅を中心とした、わかりやすい回遊動線を構築し、各地区のにぎわいをつなぎまち全体の魅力を高める

**3. ユニバーサルデザインによる計画整備**

・誰もが使いやすく安全でスムーズな歩行者動線を計画

**4. 地球環境と景観形成に配慮した計画整備**・低炭素化社会の実現に資する、地球環境にやさしい交通体系の拠点としての整備を計画  
・周辺地区とのみどりの連続性に配慮した計画  
・東京の新たな顔の形成に向けた一貫性のある景観計画**5. 公共交通基盤の強化**・駅周辺に分散しているバス乗降場を駅前広場内に集約し、安全性や利便性を向上  
・駅施設のバリアフリー化を鉄道事業者へ要請  
・駅北側に新たにタクシー乗降場を配置するとともに、駅の南北にタクシープールを新たに配置することを計画**6. 自動車等駐車場の計画整備**・高齢者等の移動制約者に配慮し、民間との役割分担により必要な自動車等駐車場を計画  
・環境負荷の少ない自転車については、十分な自転車駐車場の規模の確保及び適切な配置を計画



(1) 駅前広場整備の考え方

**新北口駅前広場（北西側）**

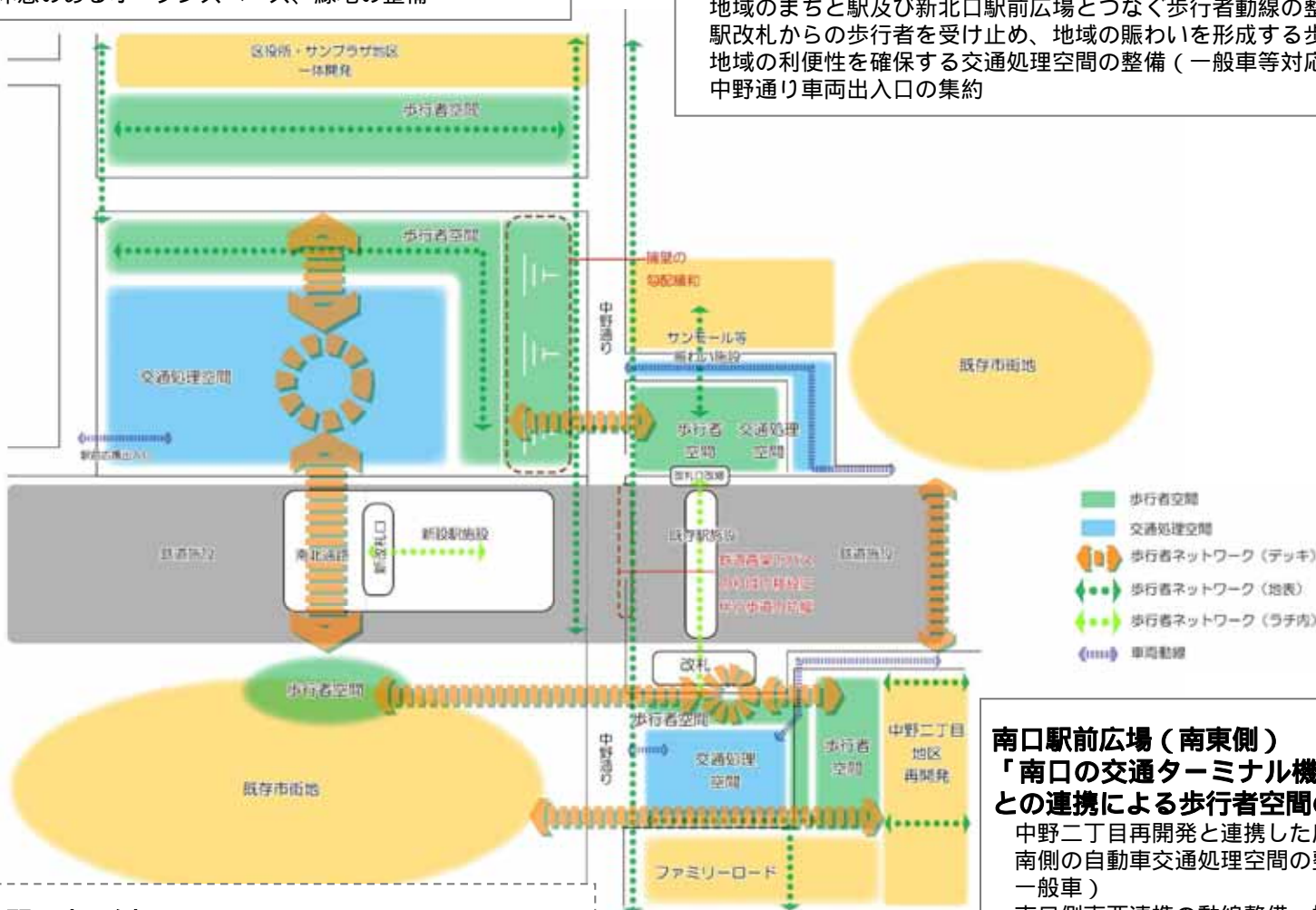
「新しい中野の顔となる都市型複合交通ターミナルの整備」

北側の自動車交通処理空間の整備（バス、タクシー、一般車）  
 駅直近の駐車場需要に対応した自動車駐車場及び北側の駐輪場需要に対応した自転車駐車場の整備  
 新改札、南北通路と連携し回遊性の向上に資する歩行者動線、空間の整備  
 周辺との連続性、一体感のあるオープンスペース、緑地の整備

**現北口駅前広場（北東側）**

「地域の利便性確保と賑わい形成に資する歩行者主体の広場の創出」

地域のまちと駅及び新北口駅前広場とつなぐ歩行者動線の整備  
 駅改札からの歩行者を受け止め、地域の賑わいを形成する歩行者空間の整備  
 地域の利便性を確保する交通処理空間の整備（一般車等対応機能）  
 中野通り車両出入口の集約



**中野三丁目駅前広場空間（南西側）**

「駅前地域のまちづくりにあわせた歩行者主体の広場空間確保」

新改札からの歩行者を受け止め、地域の賑わいを形成する歩行者空間の確保  
 地域の利便性を確保する交通処理空間の確保（タクシー、一般車機能）

**南口駅前広場（南東側）**

「南口の交通ターミナル機能の確保と民間開発との連携による歩行者空間の強化」

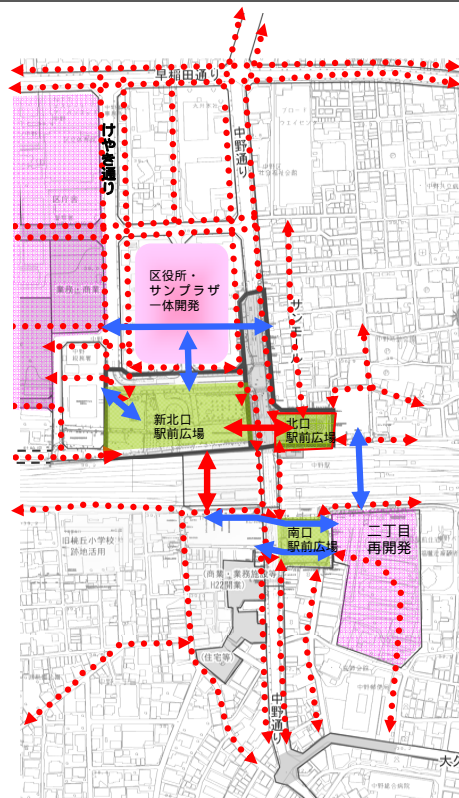
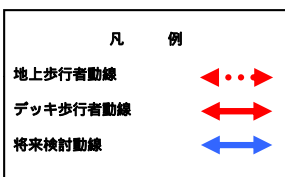
中野二丁目再開発と連携した広場空間の整備  
 南側の自動車交通処理空間の整備（バス、タクシー、一般車）  
 南口側東西連携の動線整備、拠点となる空間の確保  
 駅改札からの歩行者を受け止め、地域の賑わいを形成する歩行者広場  
 中野通り車両出入口の集約（南側の駐輪場需要に対応した自転車駐車場は再開発事業と一体的に確保）

(2) 中野駅地区主要動線の考え方

歩行者動線

動線処理の考え方

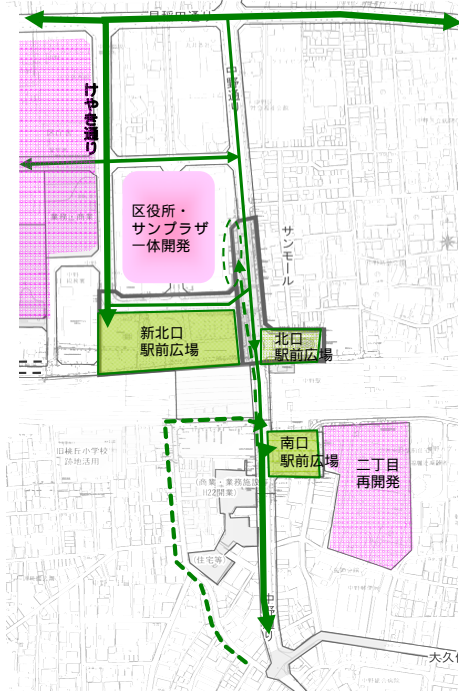
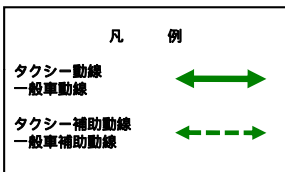
・歩行者動線については、地表面を基本とし、鉄道や地形などによる分断については、適宜ペDESTリアンデッキなどで対応する。



タクシー・一般車動線

動線処理の考え方

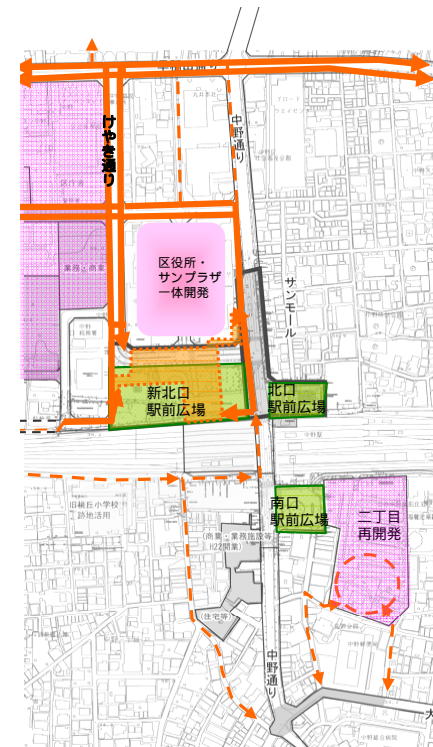
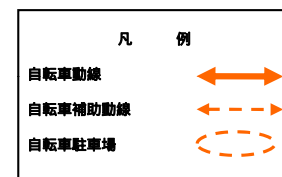
・新北口駅前広場にアクセスするタクシー、一般車については、けやき通りを主体とする動線処理を想定する。



自転車動線

動線処理の考え方

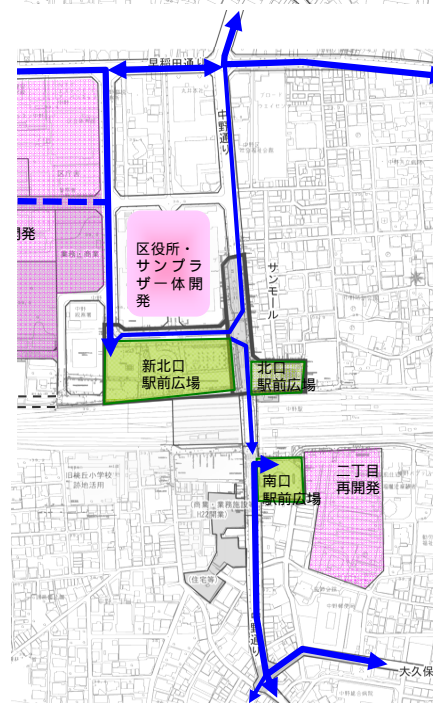
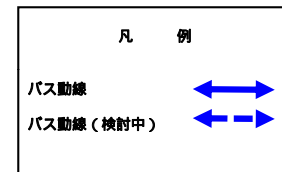
・北方面から北口駐輪場へアクセスする際、自転車と歩行者の交錯を避けるため、将来的にはけやき通り北側に駐輪場出入口を確保する。  
 ・囲町方面から駐輪場へのアクセス動線は、新北口駅前広場へ出入りする道路の西側歩道に出入口を確保する。  
 ・歩行者、自転車双方の安全性、快適な移動を確保するため、自転車走行空間の確保を検討する。



バス動線

動線処理の考え方

・北側へ向かうバスは新北口駅前広場に、南側に向かうバスは南口駅前広場に配置することを基本とする。  
 ・北側の路線バスは新北口駅前広場が起終点となるため、中野通りにバス停を有する路線を除き、原則中野通りの交通負荷を軽減するため、けやき通りを主体とする動線処理を行う。



### (3) 駐車場等整備の考え方

#### 中野駅周辺の自動車等駐車場整備の前提

##### 中野区都市計画マスタープランでの位置づけ

中野区都市計画マスタープランでは、中野区の交通体系について「公共交通機関の充実、自転車利用等の推進、環境負荷の少ない交通ネットワークの形成」を目指している。

##### 中野駅周辺における駐車場の現状

- ・現在、新北口駅前広場には中野区駐車場があり、中野駅周辺の駐車需要を担っている。
- ・中野駅周辺における駐車需要は、それに応じた駐車台数が確保されており、駐車場不足による大きな問題は生じていない。

##### 駐車場の都市計画

新北口駅前広場の地下には、駐車場の都市計画が位置づけられている。

#### 自動車駐車場整備の考え方

##### 公民の適切な役割分担

駐車場の整備にあたっては、将来の駐車場の需給バランスに配慮するとともに、適切な公民の役割分担のもとに整備する。

##### 開発者による駐車場整備のルール化

今後、進展する都市開発による駐車需要の増加に対しては、中野駅を中心とした商業地などに駐車場整備地区の都市計画決定を行うなど、都市開発における適切な規模の駐車場を確保する。

##### ニーズに応じた適切な駐車場の配置

中野駅の交通結節機能や来訪者、駅利用者、移動制約者にも配慮して、それぞれのニーズに応じた適切な位置に駐車場を整備する。

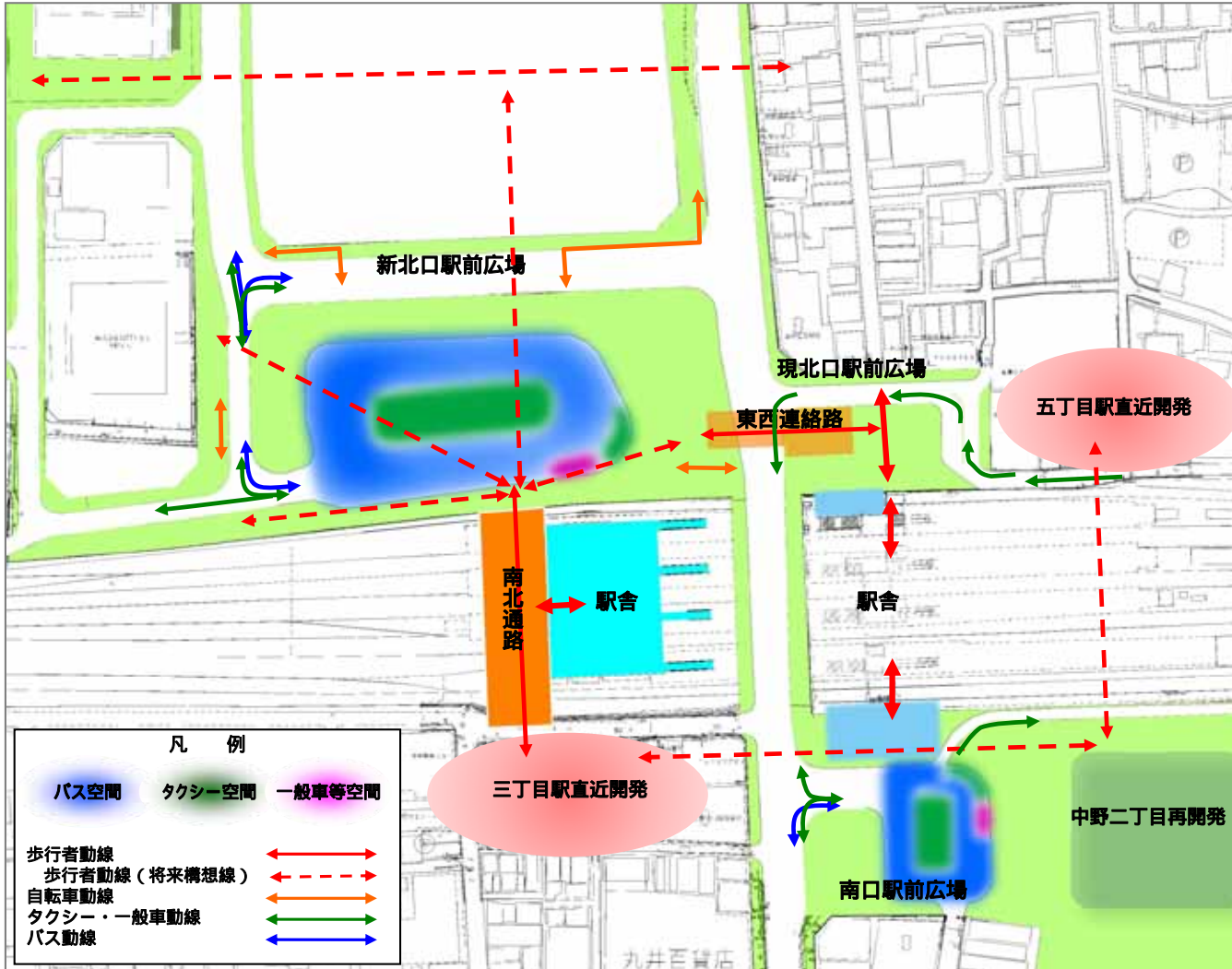
#### 自転車等駐車場整備の考え方

##### 適切な自転車駐車場等整備

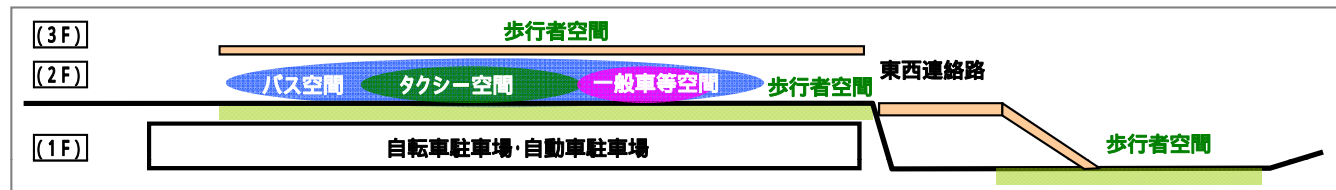
自転車駐車場や自動二輪等駐車場については、現況利用者数を十分把握し、今後の周辺開発による増加に対して必要な台数の確保と、利用者の利便性にも配慮した適切な位置に配置する。



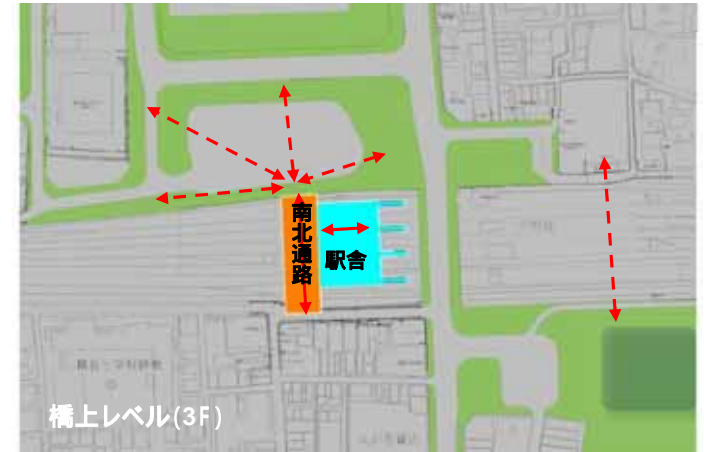
駅前広場等の整備内容、また中野駅地区での歩行者や車両等の動線は以下の通り。



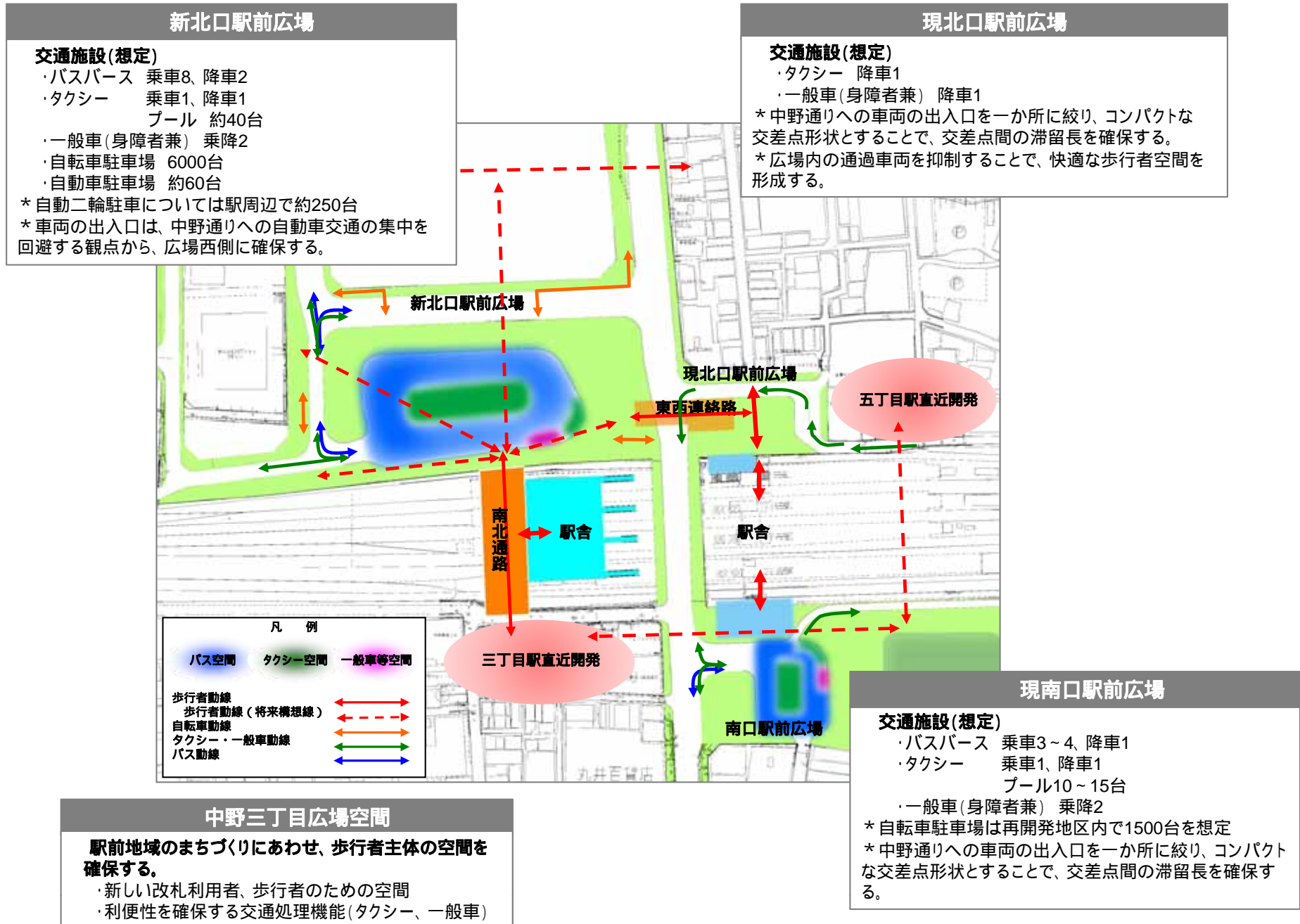
【北口断面】



【階層別平面】



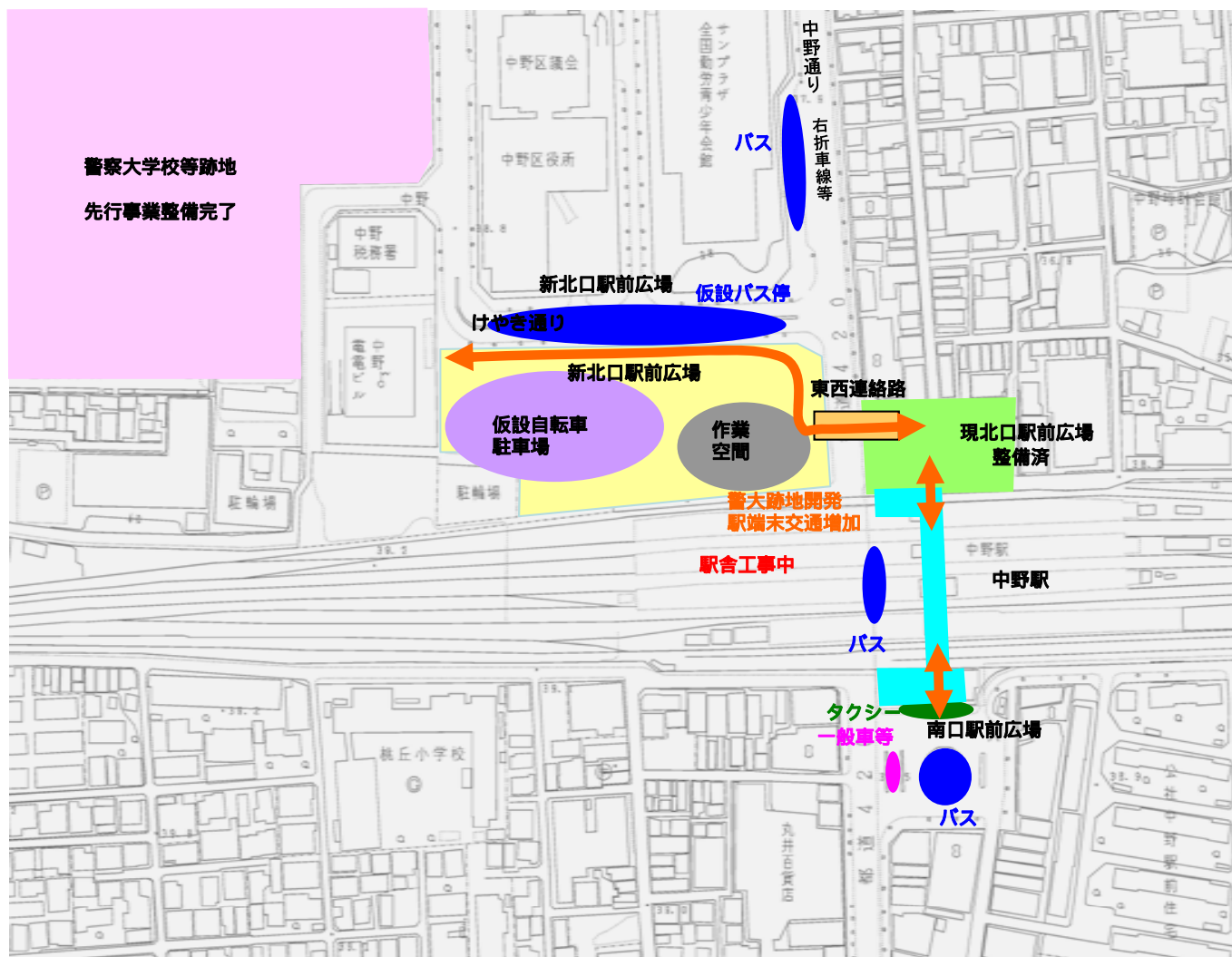




(1) 第1期整備

中野駅地区整備は、周辺のまちづくりの進捗をふまえながら段階的に進めて行く。

第1期整備（H24年春完了予定）



【周辺まちづくりの進捗】 警察大学校等跡地の先行事業（公園・道路、業務施設等）完了に伴い、中野駅利用者が大幅に増加

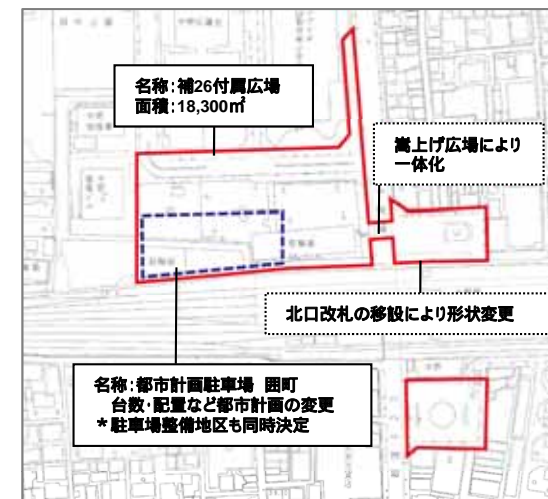
【中野駅地区の整備内容】  
 ・現北口のバス乗降所は中野サンプラザ南側へ仮設バス停を整備し移設  
 ・現北口駅前広場は歩行者中心の広場とし、あわせて北口改札を駅前広場側へ向け移設・改修  
 ・新北口駅前広場内の駐車場、自転車駐車場については移設整備し、関連工事の作業空間、警大跡地開発方面への歩行者ルートを確認

現況の都市計画



中野駅地区の整備に伴い、都市計画も見直して行く

将来の都市計画(第1期)



H22秋以降：都市計画審議会（都）諮問予定

(2)第2期以降の整備

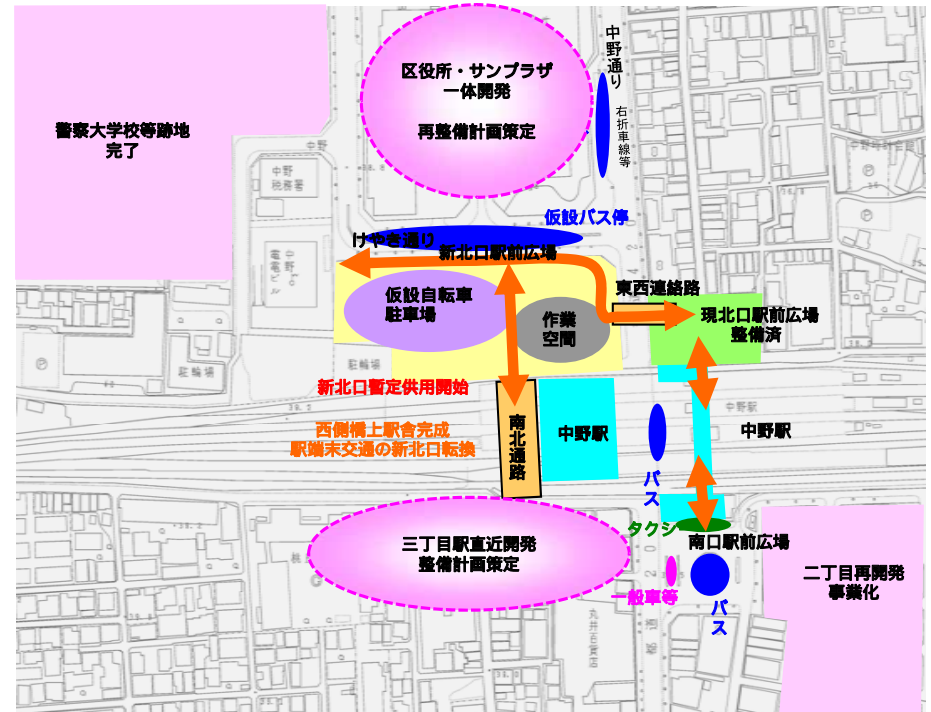
**第2期整備 (H27年頃完了予定)**

**【周辺まちづくりの進捗】**

警察大学校等跡地の開発が完了、区役所・サンプラザの再整備や中野三丁目駅直近の計画も策定され、駅直近の具体的な内容が深度化

**【中野駅地区の整備内容】**

- ・西側南北通路・橋上駅舎及び一部新北口駅前広場整備を実施、駅開設に合わせ、新北口駅前広場の暫定供用開始
- ・南北通路と中野三丁目との接続整備



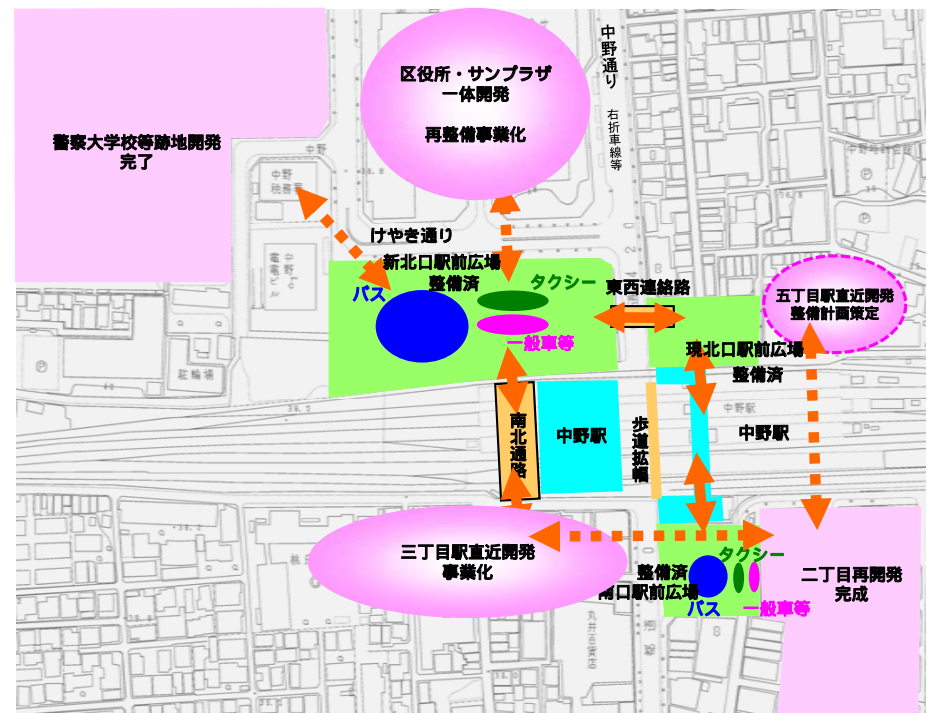
**第3期整備 (H30年以降完了予定)**

**【周辺まちづくりの進捗】**

中野二丁目再開発事業が完成し、区役所・サンプラザの一体再整備、中野三丁目駅の駅直近地区も事業着手

**【中野駅地区の整備内容】**

- ・新北口駅前広場が完成し、バス、タクシー、自転車駐車場など交通結節機能が集約されている。
- ・中野駅ガード下の中野通り東側の歩道拡幅





## (1) 第1期整備の内容

## 【現北口駅前広場からのバス停の移設】

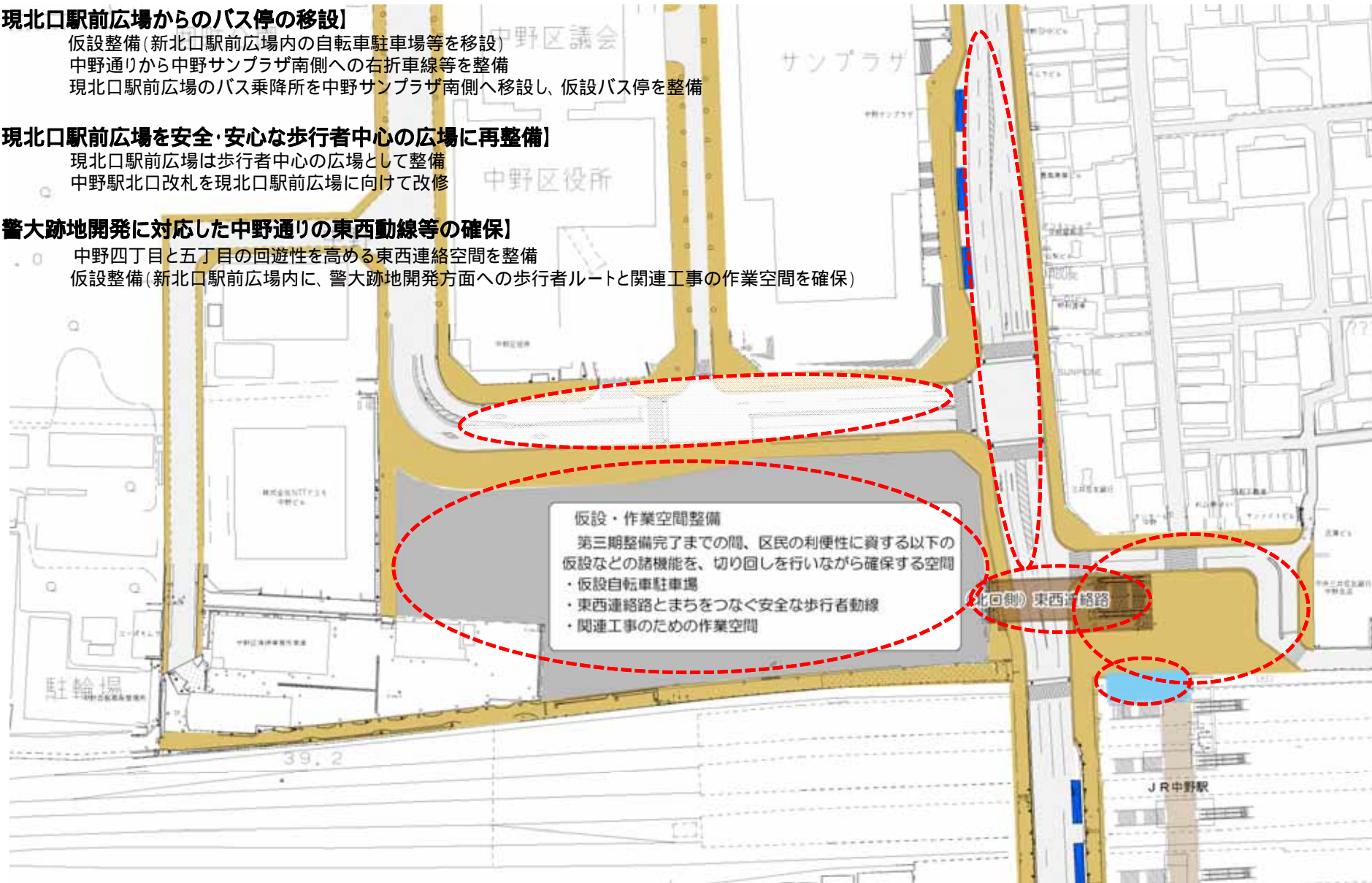
仮設整備(新北口駅前広場内の自転車駐車場等を移設)  
 中野通りから中野サンブラザ南側への右折車線等を整備  
 現北口駅前広場のバス乗降所を中野サンブラザ南側へ移設し、仮設バス停を整備

## 【現北口駅前広場を安全・安心な歩行者中心の広場に再整備】

現北口駅前広場は歩行者中心の広場として整備  
 中野駅北口改札を現北口駅前広場に向けて改修

## 【警大跡地開発に対応した中野通りの東西動線等の確保】

中野四丁目と五丁目の回遊性を高める東西連絡空間を整備  
 仮設整備(新北口駅前広場内に、警大跡地開発方面への歩行者ルートと関連工事の作業空間を確保)



\* この図は、現時点での整備の想定であり、今後関係機関との調整を進め、より効率的な整備内容として行く。  
 \* また、整備に関しては、歩行者・駅利用者の安全性を第一に配慮し、対応して行く。

(2) 第1期整備のスケジュール H24年春までの第1期整備スケジュールは以下の通り。

		年度	21年度	22年度				23年度				24年度以降
				I	II	III	IV	I	II	III	IV	
計画調整等	中野駅地区整備計画		●10月：整備構想策定									
	都市計画変更		●3月：整備基本計画策定（予定）	都市計画変更手続き（22年秋以降諮問予定）								
第1期整備事業	仮設施設等											
	①仮設自転車駐車場等											
	②中野通り右折車線等整備 ③仮設バス停（けやき通り）											
現北口広場等												
	④現北口広場（整備） ⑤現北口改札口（改修） ⑥東西連絡路（整備） ⑦歩行者通路等		基本計画 調査設計 関係者調整	基本設計 実施設計				施工				警大跡地先行事業完了

## 中野駅地区整備基本計画

発行：平成22(2010)年3月

発行者：中野区まちづくり推進室拠点まちづくり分野

〒164-8501

東京都中野区中野4丁目8番1号

TEL 03-3228-8970

FAX 03-3228-5670

Email [kyotenmatidukuri@city.tokyo-nakano.lg.jp](mailto:kyotenmatidukuri@city.tokyo-nakano.lg.jp)

21中ま拠第635号